

第5図 1号墳鉄製品・ガラス玉実測図 (S=1/2)

### 第3節 2号墳 (円墳)

丘陵の東端に築造されており、古墳群中最も墳丘が高い円墳である。現状は北東部が墓地として利用され幅10mほど墳裾が削平されている。その墓石の隣には五輪塔の残欠(砂岩)も残っている。南東部分も土取りのためか幅3.5m、長さ5m程度墳丘が削られていた。また、現況は南北に長い楕円状であるが、東西斜面が急傾斜であるため、改変されている可能性が考えられた。墳頂は残存長径9.2m、短径8.4mを測り、付近には盗掘坑も見当たらないことから、埋葬施設は遺存していると思われた。西側に存在する方形の土壇状の高まりも当初は造り出し等の可能性も考えた。

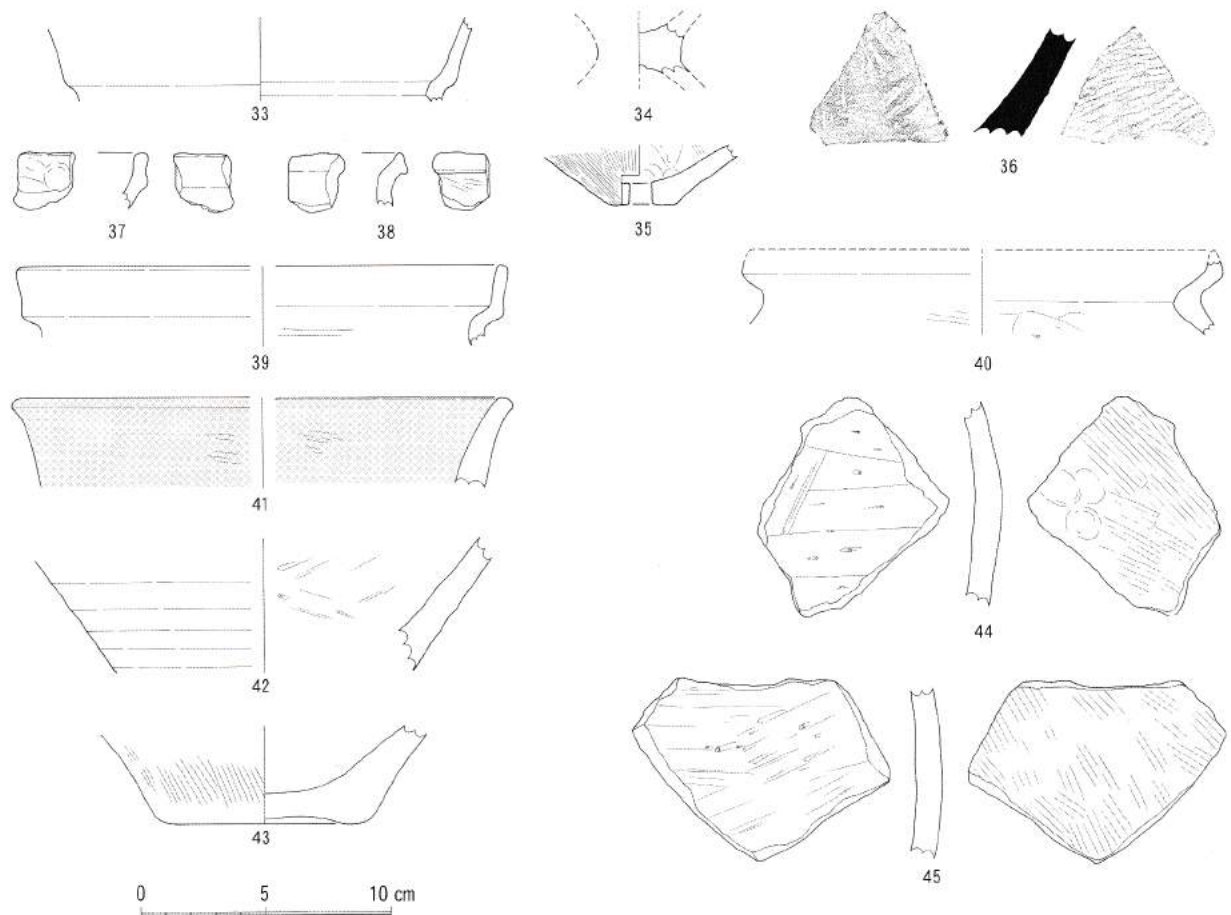
1号墳の調査でおよその規模・墳形・時期を把握することができたが、2号墳との前後関係が不明であったため、2号墳の正確な墳丘測量実測を行い、墳形をしっかりと把握し、合わせてトレンチ2で確認された落ち込みが周溝になるのかを確認するためにトレンチ4・5・6を設定した。

#### 1) 出土遺物

1号墳と比較しても、2号墳から採集できた遺物は圧倒的に少ない。盗掘を受けていないことも一因でもあろうが、墳丘上で執行される葬送儀礼などの違いがあるのかもしれない。残存長径9.2m、短径8.4mの墳頂から採集できた遺物は10点も満たない。須恵器の甕(36)、土師器甕口縁部(33)、他土師器細片のみである。出土地点69からは、土師器の底部穿孔土器(35)や土師器高坏(34)、板石が出土している。

#### 2) トレンチ4

2号墳の西側墳裾の確認とトレンチ2で発見された遺構の確認のために、墳丘から西側に幅0.5m、長さ8.5mを設定。落ち込みが検出されたため、西側に2m、幅1mのトレンチを拡張した。墳丘のある東側は竹の根が繁殖し、掘り下げるのもかなり難儀した。墳丘側の上層(㉔層より上)はほとんど竹根の影響を受けていたが、特に㉕層の竹根はひどく入り込んでいた。黒褐色の旧表土(㉔層)が標高22.5mラインで検出された。細片であるが弥生後期に比定される甕口縁部(37・38・39)が出土している。長さは1.3mのみ確認。1号墳の旧表土より0.6m程高く、古墳築造以前の様相は2号墳から1号のある西側に傾斜していく地形であったと推測される。墳丘は削平されて



第6図 2号墳出土遺物実測図 (S=1/3)

おり、トレンチ東端から2mの地点には溝状の掘り込み(⑪⑭層)もあるが、2号墳の周溝ではなく、堆積状況からも後世の造成であろう。墳丘の流出土と思われる⑭層からは土師器壺(41・42)が出土している。作業道として利用されていたこともあり、一部攪乱も見られる。1号墳との間にある土壇は2号墳を削平した後に造成されているが、盛土(②③層)を見る限り、2号墳を掘削した土で造成しているとは考えにくい。トレンチ東端から西に8.1mの地点から落ち込みが確認され、トレンチ2の落ち込みと堆積状況も同じであることから、同一の遺構の溝と判断した。深いところで0.8mあり、最下層の⑧層から弥生土器壺底部(43)が出土している。出土した弥生土器は混入と推測され、古墳の墳形や検出位置を考慮すると2号墳に付属する周溝である可能性が高まった。④層は有機物を含み固く締まっており、一時期地表面になっているようである。

### 3) トレンチ5

トレンチ2と4で確認された溝(周溝)の延長と墳裾の確認のために南東部分に長さ5.7m、幅0.5mのトレンチを設定した。墳丘の土層は②③層は盛土もしくは流出土と推測され、明黄褐色の④層については地山質の層である。標高20.5mぐらいから白色粒が混じりの確実な地山(⑭層)が検出できる。地山以外は基本的に竹根が繁殖し、遺構検出及び分層には苦労した。トレンチからは小礫と長径4cmの礫石、土師器片5点が出土。墳丘表面は削平を受けているようであるが、地山の状況を平面と断面で観察するとおよそ標高20mラインで平坦になっており、地山を削り出して墳丘の基壇部分を造成しているような印象を受ける。トレンチ東端から西に7m付近から傾斜していく。溝の延長は検出できなかったが、地形は東に湾曲するように傾斜していくことから、溝も地形に



沿って南の谷に流れていくようである。

#### 4) トレンチ6

トレンチ5と同様に溝(周溝)の延長と墳裾の確認のために2号墳の北西に長さ4m、幅1mのトレンチを設定した。表土①から④層まではトレンチ4の溝と同じ堆積状況であった。明確な東側の落ち込み、西側の立ち上がりは確認できていないが、溝の続きであると推測され、溝は浅くなるが東側に婉曲して北側の谷地形に続くとも推測される。さて、⑤層については多くの炭と焼土が検出された。炭は特に⑤層の上層に多くみられた。地山面は樹木の根により攪乱を受けていたが、生産関連の遺構の可能性も考えられたため、トレンチ西に十字トレンチを設定し、一部掘り下げた。褐灰色の④層からは土師器甕口縁部や壺底部など出土しているが細片のため、時期は不明である。⑤層からは土師器細片19点、板石(被熱)や粘土塊15点(厚いもので4cm以上)、小礫なども出土している。⑥⑦層は地山質に近い土質である。調査終了間近で溝の確認を目的としていたため、詳細な調査は実施できなかった。

#### 5) 墳丘の築造方法

トレンチ4の状況から旧表土(④層)より上層を盛土で築造している可能性が高いことが分かった。その場合、旧表土上面標高22.4mから墳頂の27.4mまで約5mを盛土造成したことになり、かなり大規模な土木工事が予想される。西側のトレンチ1箇所のみで、西南北及び墳丘中央部の築造状況が把握できていないため、あくまでも推定であるが、少なくとも墳丘西側は地山成形と盛土での築造が採用されている。墳丘の盛土は、丘陵尾根を造成した際の廃土及び溝(周溝)を掘削した際の廃土を利用していたと思われ、その具体的な工法については不明である。

#### 6) 墳丘の復元

2号墳についても、地形を巧みに利用して墳丘を造成していることが分かる。西側では標高20m、南・東側では21mラインで平坦なテラスを形成し、墳形に合わせて地山成形していると思われる。北側は比高差2mの段がある。後世に手が加わった可能性もあるが、およそ築造時の痕跡を留めているのではないかと思われる。その場合、北東からの視点も意識していることが考えられる。(北・西・南は可視)墳丘に沿って東側に平坦面は続くが、谷地形に接する地点での墳裾が想定される。

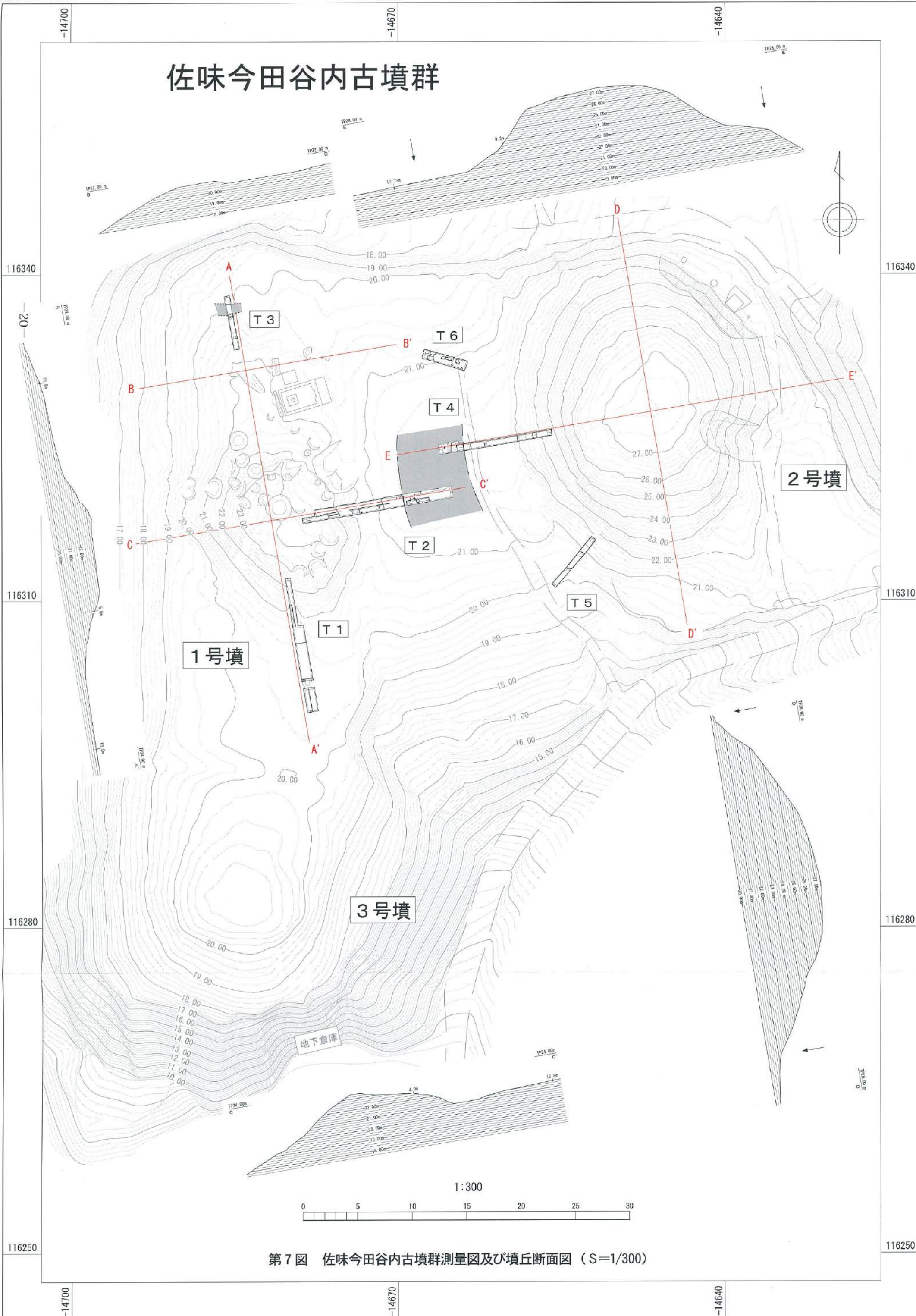
南東側は後世に大きく削平され、南北に行き来する道を後世に普請されているため遺存状況が悪い。墳丘の流出土等により、判別しにくい地点もあるが、南東にはテラス状の平坦面の存在が確認できる。

##### 周溝

西側については、1号墳との間に存在する溝が1号墳に付属する周溝ではなく、出土遺物や古墳の築造過程、トレンチ調査成果を考慮すると2号墳の周溝である可能性が高い。トレンチ5の西側の落ちとトレンチ4の周溝の肩辺り、トレンチ6の東に1m辺りに周溝が巡り、円形の墳裾が復元できる。北・東・南は自然地形により墳丘は明瞭に区別されるが、西側は丘陵が続くため、明確に区切る区画溝としての周溝が造られたと思われる。上端幅(推定)7.6m、下端幅(推定)4.2m、深さ0.8mの周溝が復元できる。

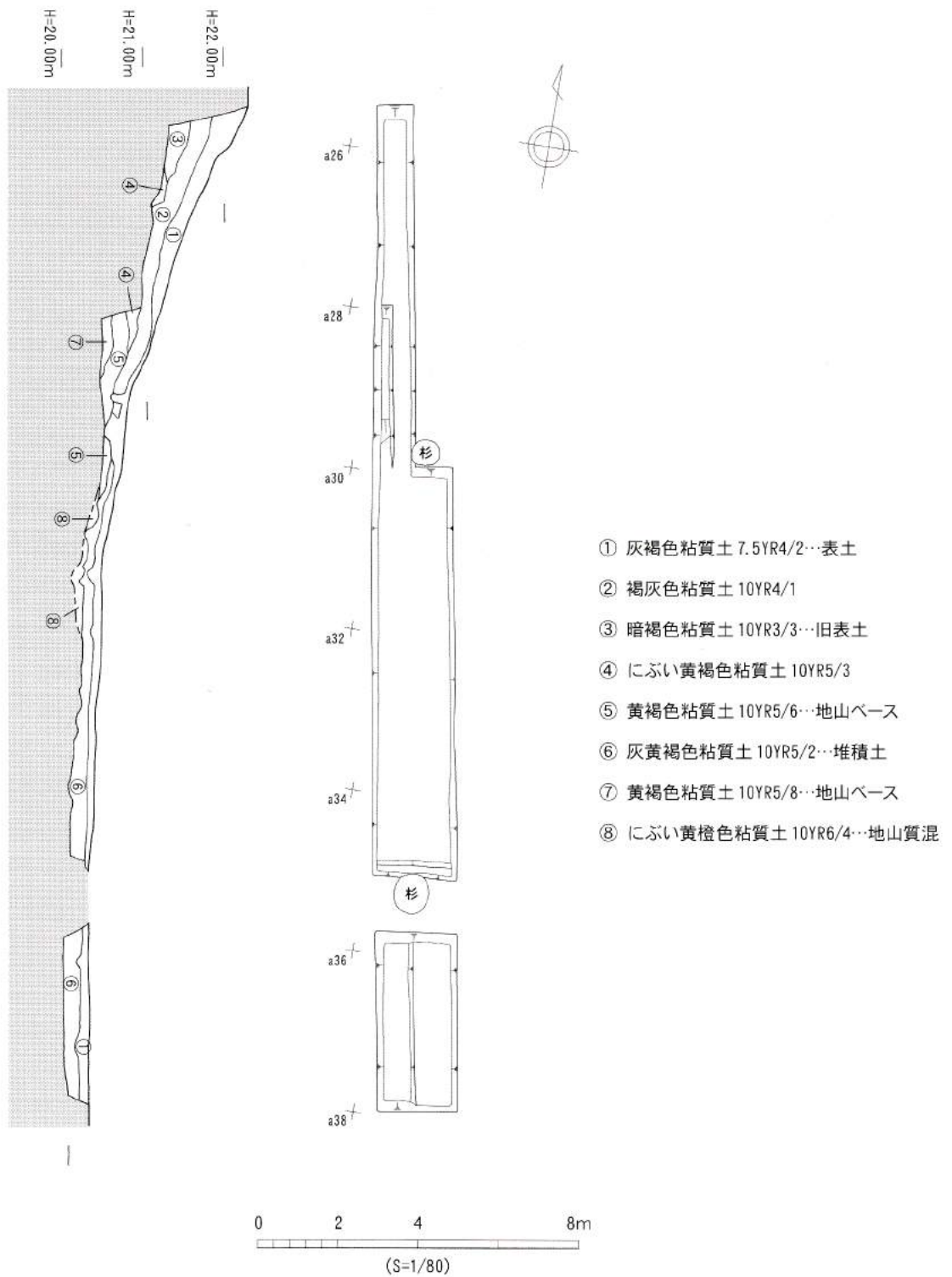


# 佐味今田谷内古墳群

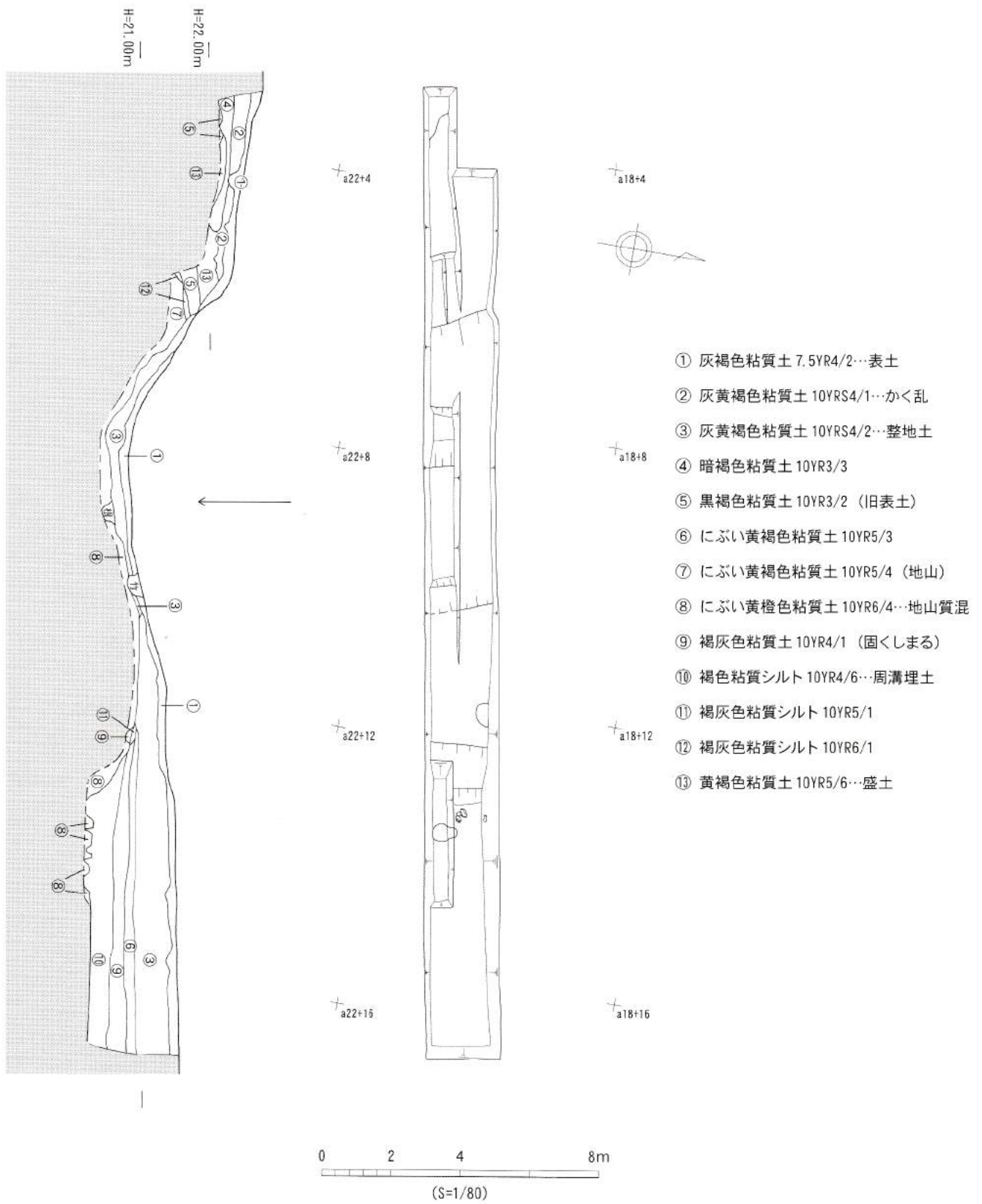


第7図 佐味今田谷内古墳群測量図及び墳丘断面図 (S=1/300)

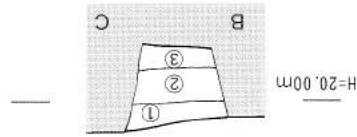




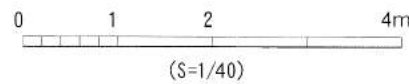
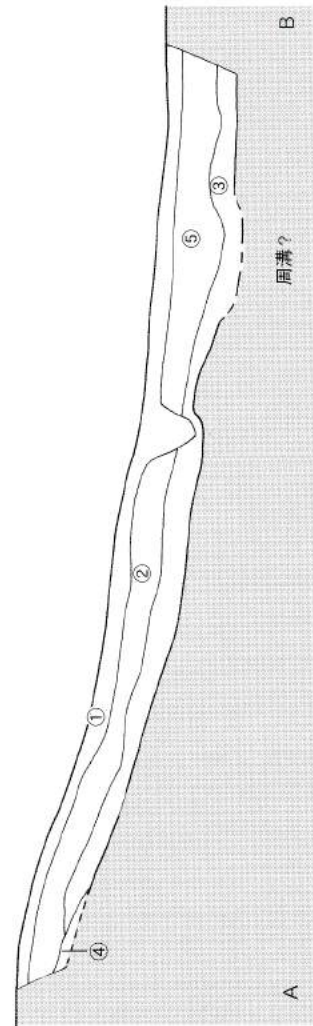
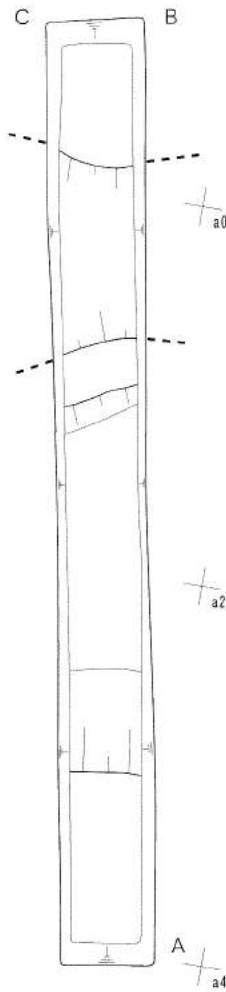
第8図 トレンチ1平面図・土層実測図 (S=1/80)



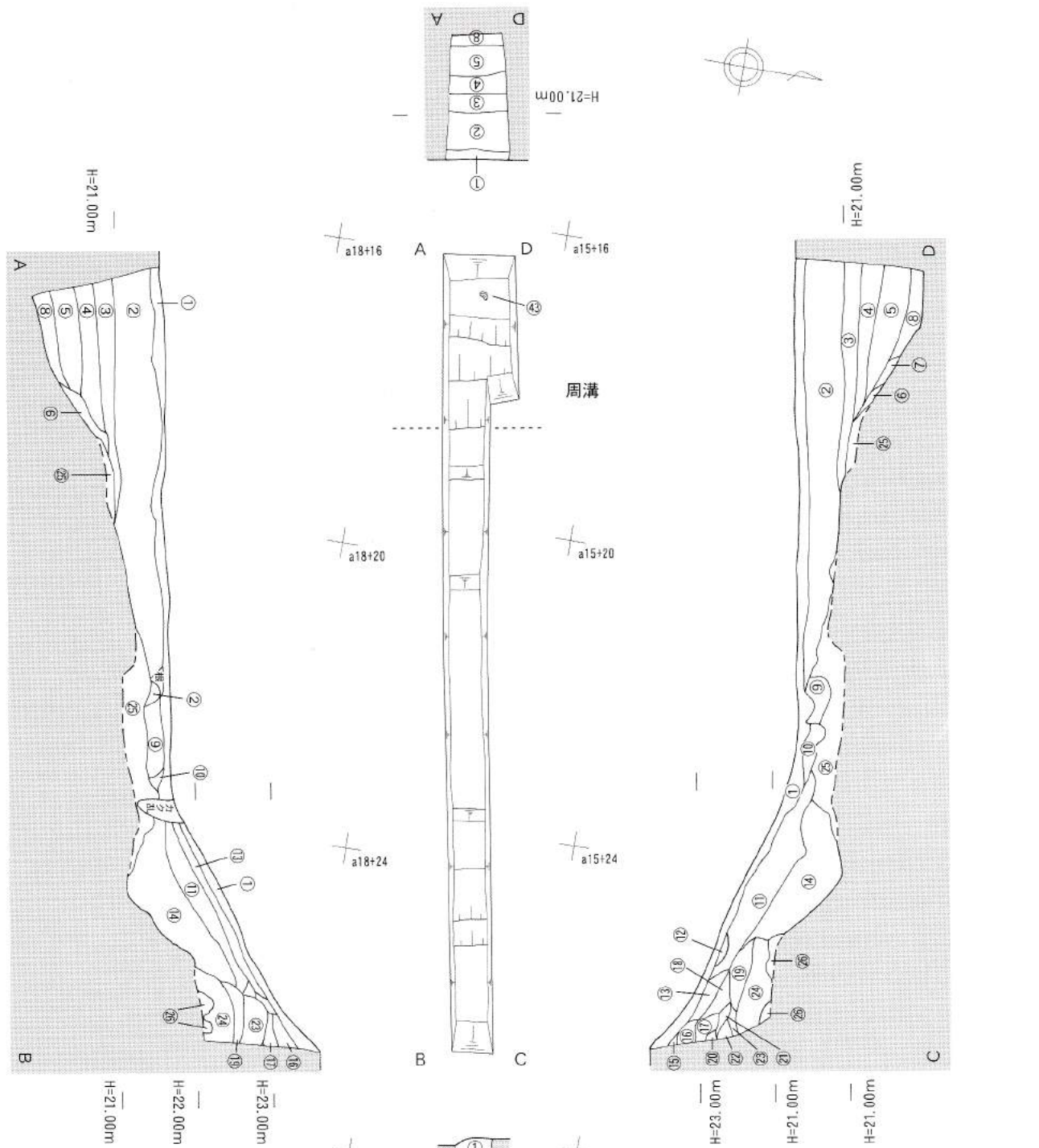
第9図 トレンチ2平面図・土層実測図 (S=1/80)



- ① 灰褐色粘質土 7.5YR4/2…表土
- ② にぶい黄褐色粘質土 10YR5/3
- ③ にぶい黄褐色粘質土 10YR4/3
- ④ 褐色粘質土 10YR4/4…地山ベース
- ⑤ 灰黄褐色粘質土 10YR4/2



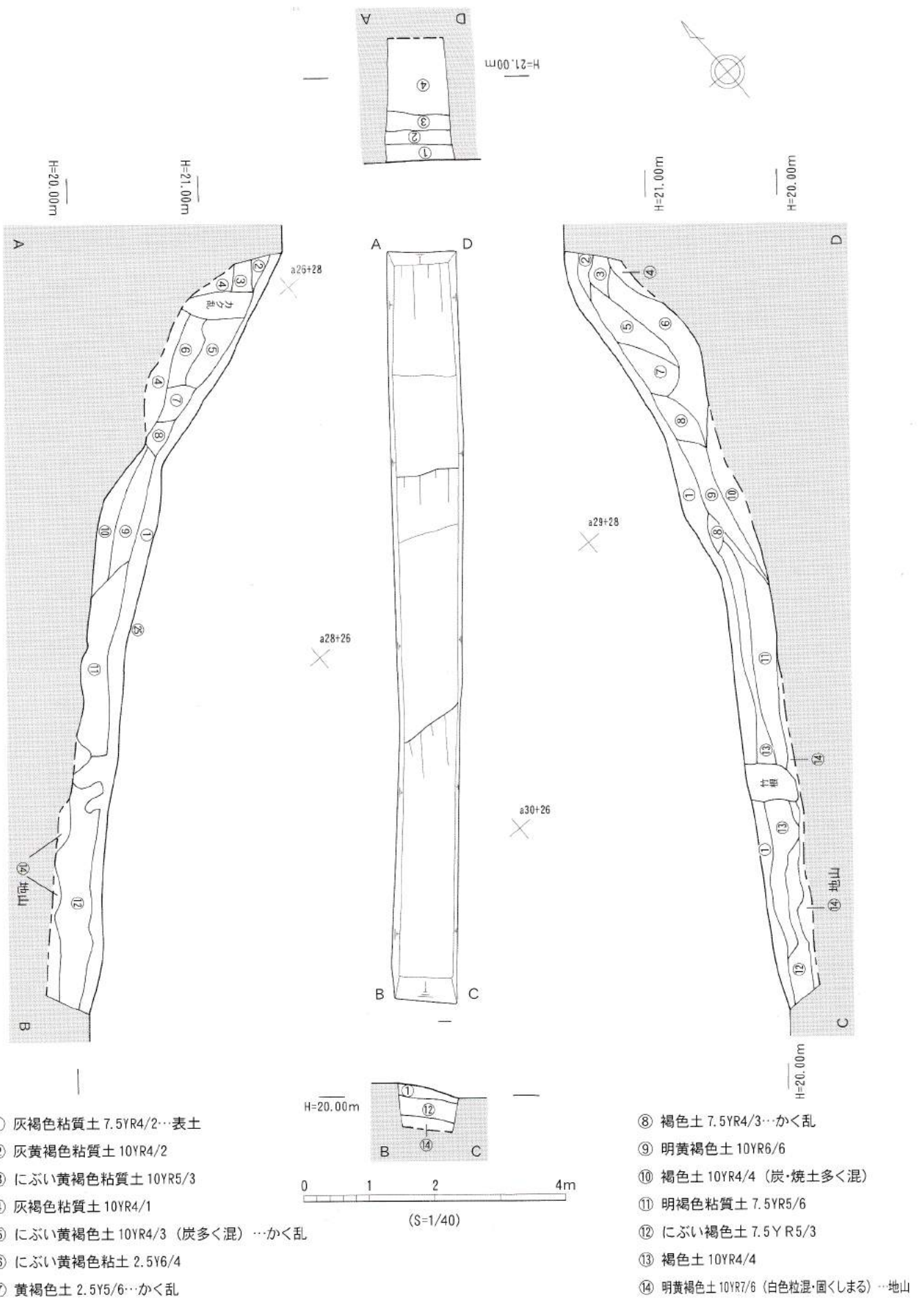
第10図 トレンチ3平面図・土層実測図 (S=1/40)

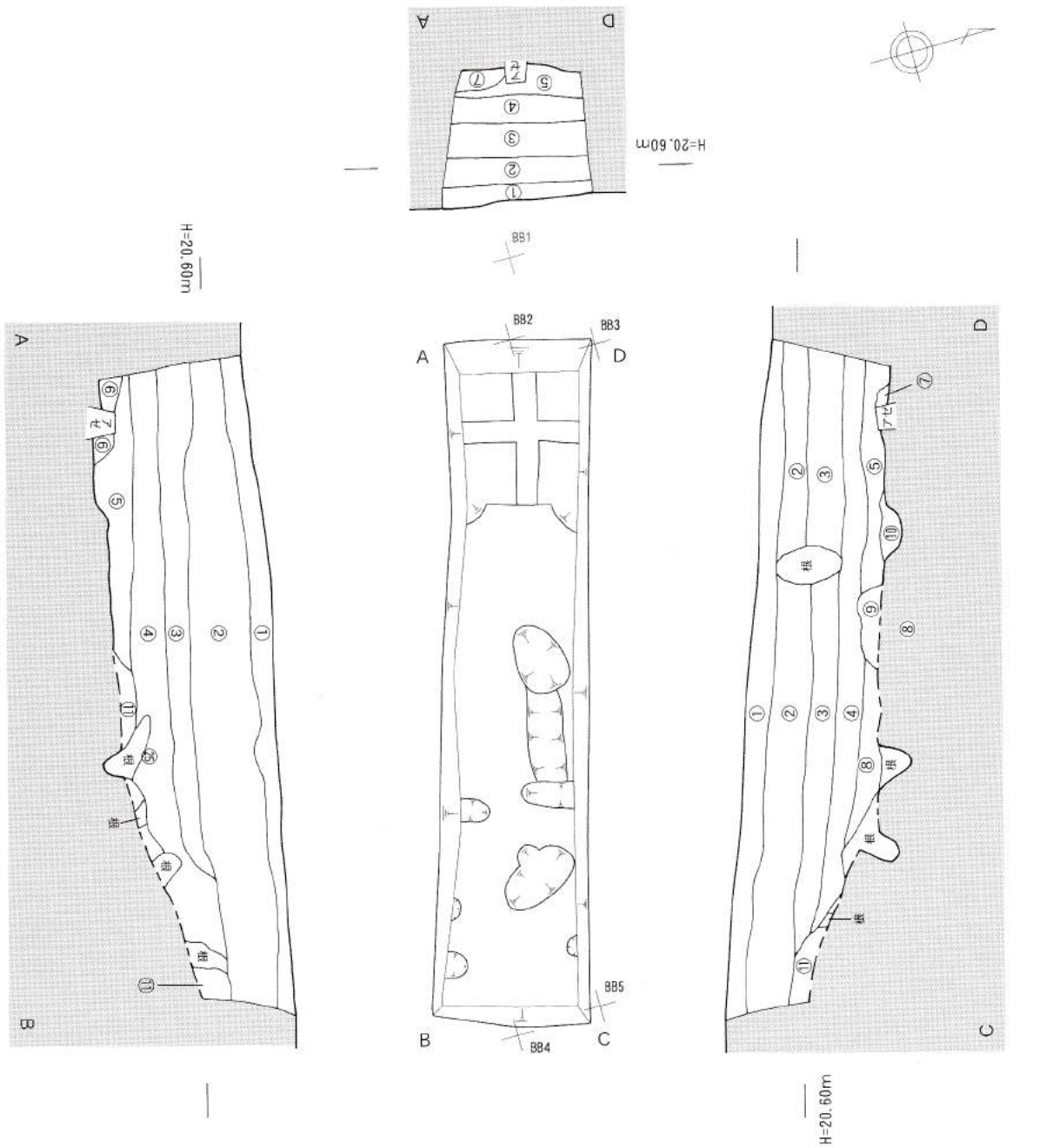


- ① 灰褐色粘質土 7.5YR4/2…表土
- ② 灰黄褐色粘質土 10YR4/2…整地土
- ③ にぶい黄褐色粘質土 10YR5/3
- ④ 灰褐色粘質土 10YR4/1 (硬くしまる)
- ⑤ にぶい黄褐色粘土 10YR4/3
- ⑥ にぶい黄褐色粘土 10YR4/3 (地山質混)
- ⑦ にぶい黄褐色粘土 10YR4/3
- ⑧ にぶい黄褐色粘土 10YR4/3 (明黄褐色土混) …周溝埋土
- ⑨ 黄褐色土 10YR5/6…かく乱
- ⑩ にぶい黄褐色土 10YR5/3…かく乱
- ⑪ 明黄褐色土 2.5Y7/6
- ⑫ 明黄褐色土 2.5Y7/6 (黒褐色土混合)
- ⑬ 明黄褐色土 2.5Y7/6 (表土混)
- ⑭ 褐色土 7.5YR4/4…かく乱
- ⑮ 黄褐色土 10YR5/4 (竹根)
- ⑯ 黄褐色土 10YR5/6 (竹根)
- ⑰ 明黄褐色土 2.5Y6/6 (淡黄色粘土ブロック混・竹根)
- ⑱ 明黄褐色土 2.5Y6/6 (黄色粘土ブロック混・竹根)
- ⑲ にぶい黄褐色土 10YR6/4 (竹根)
- ⑳ 黄褐色土 2.5Y/3 (淡黄色粘土ブロック混)
- ㉑ 黄褐色土 2.5Y/3 (黄色粘土ブロック混)
- ㉒ オリーブ褐色土 2.5Y5/4
- ㉓ 黄褐色土 2.5Y5/4 (淡黄色粘土ブロック多く混)
- ㉔ 黒褐色粘質土 10YR3/2 (旧表土)
- ㉕ 明褐色粘質土 7.5YR5/6…地山
- ㉖ 明黄褐色粘質土 10YR7/6 (白色粒混) …地山質

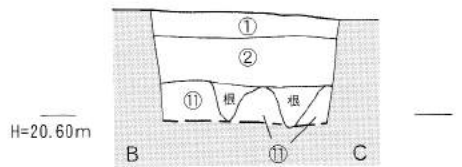
第 11 図 トレンチ 4 平面図・土層実測図 (S=1/80)







- ① 灰褐色粘質土 7.5YR4/2…表土
- ② 明黄褐色土 10YR7/6
- ③ 明黄褐色土 10YR6/6
- ④ 明赤褐色土 10YR5/8
- ⑤ にぶい黄橙色土 10YR6/4
- ⑥ にぶい黄橙色土 10YR6/3
- ⑦ にぶい黄褐色土 10YR5/3



- ⑧ 暗褐色土 10YR3/3
- ⑨ にぶい黄褐色土 10YR5/4
- ⑩ 黄褐色土 10YR5/6…地山質
- ⑪ 黄褐色土 10YR4/4
- ⑫ にぶい褐色土 7.5YR5/3
- ⑬ 褐色土 10YR4/4
- ⑭ 明黄褐色土 10YR7/6  
(白色粒混・固くしまる)…地山

第13図 トレンチ6平面図・土層実測図 (S=1/40)